

くらし、えがく。ちひろのアトリエ



2022 $\frac{10}{8}$ sat . . . 2023 $\frac{1}{15}$ sun

主催：ちひろ美術館
後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、
日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、
西東京市教育委員会、練馬区

上 アトリエの自画像 『わたしのえほん』(新日本出版社)より 1968年
右 アトリエで絵を描くいわさきちひろ 1969年



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京



屋根裏のアトリエで本を読む自画像 1947年頃

くらし、えがく。ちひろのアトリエ

いわさきちひろが22年間を過ごした練馬区下石神井の自宅の跡地に建つ、ちひろ美術館・東京。ここには、多くの絵が生まれ、日々のくらしが営まれたアトリエの、1972年当時のようすが再現されています。画机や本棚などの愛用の品々が遺されたアトリエからは、50年を経た今も、ちひろの人物像を偲ぶことができます。

ちひろは戦争のなかで一度は夢を見失いながらも、戦後、懸命に絵を描いて、子どもの本の画家としての道を拓きました。また、愛する人と家庭を築いたちひろにとって、家族とのくらしもかけがえのないものでした。本展では、くらしと仕事の両方を大切にしながら自分の人生を切り拓いたちひろの生き方を、アトリエを軸にたどります。画家としての出発点となった神田の下宿、家族とともにくらしした練馬の自宅、信州の黒姫高原に建てた黒姫山荘——それぞれのアトリエで描かれた作品や、ちひろ自身のことば、写真などの資料も紹介します。

「自分のやりかけた仕事を一歩ずつたゆみなく進んでいくのが、不思議なことだけどこの世の生き甲斐なのです。」

いわさきちひろ 1972年(エッセイ「大人になること」より)



庭に出た寝巻姿のアンナ 紙芝居「お月さまいくつ」(童心社)より 1958年



赤い毛糸帽の女の子 「ゆきのひのたんじょうび」(至光社)より 1972年



小猫をくちにあてる少女 1969年

ストーブに薪をくべる少女 1973年

展覧会関連イベント

●講演会「奥村まことが設計したちひろのアトリエ」

(オンライン)

10/16 (日) 14:00~15:00

講師：村上藍(『奥村まことの生涯とその設計』著者)

参加費：500円 定員：70名(先着順)

申し込み：要事前予約(Peatixにて9/16(金)より受付)

●講演会「ちひろのアトリエ」(オンライン)

11/13 (日) 14:00~15:00

講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)

参加費：無料 定員：70名

申し込み：要事前予約(Peatixにて10/13(木)より受付)

会期中のイベント

●わらべうたあそび

11/19 (土)

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表・はとさん文庫主宰)

対象：0~2歳11カ月児と保護者

参加費：無料(入館料別)

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて10/19(水)より受付開始)

※詳細は決まり次第、公式サイトにてお知らせします。

●ギャラリートーク

第1・第3土曜日 14:00~14:30

参加費：無料(入館料別)

定員：15名

申し込み：当日受付

●絵本のじかん

第2・第4土曜日 11:00~

参加費：無料(入館料別)

定員：15名

協力：NCBN(はりま子どもと本ネットワーク)

申し込み：当日受付

●親業講演会

10/29 (土) 10:00~12:00

講師：田中満智子(親業訓練協会インストラクター)

対象：大人(未就学児の同伴も可) 参加費：無料(入館料別)

定員：8組16名

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて9/29(木)より受付開始)

●ワークショップ「あなたの『好き』を描こう、つくろう」

12/10 (土) 14:00~15:30

講師：冨田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)

対象：外国語を母語とする3~6歳児と保護者(英語対応あり)

参加費：無料(入館料別)

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて11/10(木)より受付開始)

●あかちゃん/子どものための鑑賞会

(外国語を母語とする家族を含む) 12/11 (日)

講師：冨田めぐみ(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)

対象：0~2歳児 / 10:30~12:00

3~6歳児と保護者 / 14:00~15:30 (英語対応あり)

参加費：無料(入館料別)

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて11/11(金)より受付開始)



令和4年度 Innovative MUSEUM 事業

●目の見えない白鳥さんといっしょにちひろの絵を楽しもう

2023.1/8 (日) 14:00~

ナビゲーター：白鳥建二(全盲の美術鑑賞者、写真家)

対象：大人 定員：5名 参加費：無料(入館料別)

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて12/8(木)より受付開始)

いわさき ちひろ (1918 ~ 1974)

1918年福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ(旧姓名・岩崎知弘)。3人姉妹の長女。1936年東京府立第六高等女学校卒業。絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年に松本善明と結婚、同年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。翌年、長男を出産。絵本などの子どもの本を中心に、新聞、雑誌、カレンダーなどさまざまな印刷メディアに絵を描いた。1974年、肝臓ガンのため死去。享年55。

※ちひろ美術館・東京は、お客さまに安全にお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため十分な措置を講じたうえで、開館しております。当面の間、開館時間を短縮しています。
※開館情報、会期、イベント内容などは予告なく変更する可能性があります。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL 03-3995-0612

テレホンガイド 03-3995-3001 FAX 03-3995-0680

●開館時間=10:00~16:00(入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日(祝休日は開館、翌平日休館) 年末年始(12/28~1/1) ●入館料=大人1000円/高校生以下無料/年間パスポート3000円 ●交通●電車の場合=西武新宿線上井草駅下車徒歩7分●バスの場合=JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分 chihiro.jp

